学校番号	T3011

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	（学）総合基礎Ⅱ	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は０時限目（17 時始業、45 分間授業）に設定されていて、後期期間のみ週２回の講座です。すべての学年の生徒が受講できる講座です。授業内容は国語、数学、英語で、中学校までの内容の復習を中心にした「学びなおし講座」です。定期考査は実施しませんが、毎回の出席状況と学習状況を総合的に評価して単位を認定します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
国語ではことばや文章の読み書き、数学では基本的な計算と数式、英語では単語・慣用句などを高校の授業に対応できる能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
国語では文章を読み思考し、数学では論理的な判断、英語では表現を中心に、各教科の「学び直し」を中心にした学習を行い、高校の授業に対応できる能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生徒の能力・ニーズにあわせて、生徒に合わせた主体的に学ぶ姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各教科の基礎的な知識が身についている。また、基本的な読み書き、計算を行うことができる。	各教科で身につけた基礎的な知識をもとに、読み、書き、表現ができる。また、そのまとめた考えが表現できる。	積極的に学習に取り組もうとしている。授業で自分の考えを話したり書いたりして伝えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	国語	ことばや文章の読み書きを個々に沿った進度で学習を進める。	a: 基本的なことばや文章の読み書きができる。 b: 基本的なことばや文章の読み書きを正確に実践できる。 c:積極的に学習に取り組み、基本的なことばや文章の読み書きを理解しようとしている。	課題	課題	観察
	数学	基礎の定着を図り、能力の向上を目指す。 前期と同様に定期考査前には対策問題に取り組み得点の向上を図る。	a:基礎的な知識が身についた上で知識を応用する技能を身に付ける。 b:自分の考えをまとめた社にわかりやすく伝えることができる。 c: 問題に対して粘り強く取り組もうとしている。	課題	課題	質問や意見を述べるなど授業に取組む姿勢
	英語	基礎の定着を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの全ての技能において、コミュニケーションを行えることを目指す。	a:前期で習得した単語を使用して、身の回りの事柄について簡単なコミュニケーションをとることができる。 b:助けがあれば、自分の考えや意見を簡単に述べることができる。 c: 身の回りの事柄について英語で発信しようとしている。	課題	課題	質問や意見を述べるなど授業に取組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度